

| 12月1日(日) | | | | | | | | | | | |
|------------|---|--|--|---|---|--|---|--|--|-------|--|
| 第10会場 | | 第11会場 | | 第12会場 | | 第13会場 | | 第14会場 | | 第15会場 | |
| サンポートホール高松 | | | | | | | | | | | |
| 7F | | 1F | | 5F | | 2F | | JRホテルクレメント高松 | | | |
| 第1リハーサル室 | 第2リハーサル室 | 第3リハーサル室 | 展示場A | 展示場B | BBスクエア | 雅 | 霞 | 暁 | 華 | 08:30 | |
| 09:00 | 09:00~10:20 | 09:00~10:20 | 09:00~10:20 | 09:00~10:20 | 09:00~10:20 | 09:00~11:00 | 09:00~10:20 | 09:00~10:20 | 09:00~10:20 | 09:00 | |
| 10:00 | S2-13子ども期に逆境体験のある人が親になるということ～社会的養育の立場から～ 閔根祥子 | S2-17気になる「気になるシート」～医療機関でのチェックシートの活用～ 毎原敏郎 | S2-21子ども若者シェルターの可能性について～子どもシェルターの経験から～ 高橋温 | S2-25一時保護時の司法審査に向けて～全国各地の試行運用からわかった！現場の実践と工夫～ 根ヶ山裕子 | S2-29諸外国におけるこども家庭福祉分野のソーシャルワーカーの継続的な学び直しの在り方について 松山里紗 | 委員会・WG企画シンポジウム6 子どもの権利を守るWG2 こどもの権利を保障する児童相談所などのフォーマル(制度的)アドボカシーのあり方は、一こどもの声を尊重する関係機関のシステム構築や実践を展開するためにー 座長：安孫子健輔 | S2-35児童相談所一時保護所における研修の実行・評価に基づく人材育成の改善 太田研 | S2-39児童相談所におけるスーパーバイズの実践 -「学習する組織」の視点からー 北谷多樹子 | S2-43専門家里親から学ぶ里親里子クラブからの転機 その3 西澤哲 | 10:00 | |
| 11:00 | 10:35~11:55 | 10:35~11:55 | 10:35~11:55 | 10:35~11:55 | 10:35~11:55 | S2-36「児童福祉法改正による年限彈力化を受けて、こどものはぐくみを考える」～制度の活用、その可能性と限界～ 福本啓介 | 10:35~11:55 | 10:35~11:55 | 10:35~11:55 | 11:00 | |
| 12:00 | 昼食会場 | 昼食会場 | 昼食会場 | 12:30~13:50 | 12:30~13:50 | S2-40医療・司法・福祉の連携～頭部外傷事案の着手前カンファレンスの展望と課題ー 川本出 | 12:30~13:50 | 12:30~13:50 | 12:30~13:50 | 12:00 | |
| 13:00 | S2-15協同面接における機関連携の間(はざま)におかれた子どもの声を聞く～子どもの声を聞くための児相の役割～ 鈴木浩之 | S2-19被措置児童虐待事案 曾我智史 | S2-23医療機関を主体とした多施設共同研究 プラットフォーム：子ども虐待レジストリ(J-CARE)始動に向けて 安炳文 | S2-27ひとり親家庭のこどもの生活向上を目指して～こどもの貧困連鎖を断つため、施設だからこそできる家族支援～ 斎藤弘美 | S2-31児童虐待死亡事例について裁判記録を用いた再検証報告－移管対応についての考察ー 斎藤知子 | S2-33誰のためのアドボカシーか～ACEs(幼少期逆境体験)から見えてくるものからの検討～ 石田賀奈子 | S2-37逆境的体験の累積を予防するための早期回りとはー私たちの日常の取り組みと、その先一加賀谷悠 | S2-41千葉県における児童虐待防止医療ネットワーク事業の成果～各地区の特徴について～ 五十嵐真澄 | S2-45児童福祉施設職員自身のアタッチメントを保障する試みー子どもをケアする人をケアするー 益田啓裕 | 13:00 | |
| 14:00 | 14:05~15:25 | 14:05~15:25 | 14:05~15:25 | 14:05~15:25 | 14:05~15:25 | 14:05~15:25 | 14:05~15:25 | 14:05~15:25 | 14:05~15:25 | 14:00 | |
| 15:00 | S2-16「子どものためのワンストップセンター(日本版CAC)」のある社会システムの提言 田上 幸治 | S2-20児童相談所一時保護所の第三者評価義務化を意義なものにするために 安部計彦 | S2-24「特別区の底力(そこちから)～現場主導で変える児童福祉の人材育成～ 木野内由美子 | S2-28簡単で安全な「CCAP版 親と子の関係を育てるペアレンティングプログラム®」の効果を検証する 山川玲子 | S2-32これから地域でのこども家庭支援のあり方を具体的に考えるー2022年改正児童福祉法を踏まえて 畠山由佳子 | S2-34地方自治体における子どもの権利擁護機関で子どもの「声」を聴く意義と課題 谷口由紀子 | S2-38いまあらためて、養育規範を問うー子ども・若者支援と養育者支援との統合の方向性を探るー 斎藤真緒 | S2-42ソーシャルワーカーのゆらぎを支援者としての成長につなげるー支援者への支援の視点からー 橋本るり子 | S2-46社会的養護を経て大学等へ進学した後の支援～奨学金給付と合わせた伴走型支援の課題と展望～ 浦田雅夫 | 15:00 | |